研究実施のお知らせ

2026 年 6 月 15 日 ver.1.0

研究課題名

活動性がんを併発した脳卒中および脳血管関連疾患患者に対するリハビリテーションの実施状況と院内・施設間連携の実態：単施設後視的パイロット研究

研究の対象となる方

2024 年 4 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）および脳血管関連疾患（硬膜下出血、硬膜外出血）と診断された方です。また先の診断を受けた方の内、がん病変を有し、現在も治療継続中である方、脳卒中や脳血管関連疾患を発症する以前の過去 6 ヶ月以内にがん治療（手術・薬物療法・放射線治療）を受けている方を対象とします。

研究の目的・意義

活動性のがんを併発している脳卒中患者の診療については、現在も研究が勧められています。現在、がんを有する脳卒中の方に対する診療は脳に関わる医師、がんに関わる医師の中でも診療方針に一定の見解がない状況です。本研究では、活動性がんを併発して入院した脳卒中および脳血管関連疾患患者を対象に、急性期病院入院中のリハビリテーションの実施状況と連携体制を後方視的に調査・記述し、今後の診療体制整備および研究課題を明らかにすることです。

研究の方法

本研究に使用する資料は、研究期間中に入院をしていた方の診療録に記録されている情報を使用します。また以下の情報は他機関に提供することはありません。また以下の情報については、氏名や患者 ID などを削除した上で取り扱います。対象者の識別は研究用に付与する識別番号によって行い、研究対象者リストは収集データとは別に研究責任者が保管します。

1) 患者個人データ（年齢、身長、体重、性別、同居者の有無、要介護認定の有無、発症前の ADL や PS、併存疾患）
2) 脳卒中に関する情報（診断名、治療内容、入退院時 NIHSS、初発/再発、在院日数）

3) 活動性がんに関する情報（がん種、ステージ、治療歴（薬物療法・放射線治療、手術の有無）、転移の有無・部位、治療目的（根治/延命/緩和）、入院中のがん治療継続の有無やそれに関する検討、がん治療施設）
4) リハビリテーション実施情報（リハビリテーション依頼率・開始率、介入職種（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、発症からリハビリテーション開始までの日数、開始までの遅延率・遅延理由、リハビリテーション介入日数、介入開始時・退院時 FIM・PS、転帰、転院時サマリの有無とがん治療に関する記載の有無
5) 施設内および施設間連携情報

院内連携

・がん診療科コンサルトの有無　・緩和ケアチーム介入の有無・医療ソーシャルワーカー介入・退院支援カンファレンス実施の有無　・それぞれの院内連携実施率

施設間連携

・転院調整の実施有無と実施率　・転院先候補の種別（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病床、緩和ケア病棟、急性期病院、施設）・紹介先への情報提供書送付・受入可否・受入困難理由（がん治療継続、医療依存度、予後、費用、病床事情など）

研究の期間

2026 年 11 月 12 日～2027 年 3 月 31 日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院　リハビリテーション部　野口瑛一

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方

からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 1 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：野口瑛一
島根大学医学部附属病院　リハビリテーション部
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2457　　FAX　0853-20-2305